

# 高臨場感ディスプレイフォーラム 2015 (画像電子学会 第 275 回研究会)

## テーマ: 身近になった高臨場感/超臨場感技術

高精細や3D などの高臨場感ディスプレイ・映像は様々な応用を通じてより身近な存在になってきています。その最新技術動向に加え、応用、ビジネス、コンテンツなど、幅広い視点から議論を深めたいと思います。

日時: 2015 年 11 月 24 日(火) 13:00~17:10 (機器展示は 12:00~16:00)

会場: 日本科学未来館 7F イノベーションホール

東京都江東区青海 2-3-6

<http://www.miraikan.jst.go.jp/guide/route/>

- ◇ 新交通ゆりかもめ(新橋駅~豊洲駅)  
「船の科学館駅」下車、徒歩約 5 分  
「テレコムセンター駅」下車、徒歩約 4 分
- ◇ 東京臨海高速鉄道りんかい線(新木場駅~大崎駅)  
「東京レポート駅」下車、徒歩約 15 分

★ ご注意: 当日は 科学未来館は休館日です。通用口から入館ください。

[http://www.miraikan.jst.go.jp/guide/docs/20140613\\_inst\\_plan.pdf](http://www.miraikan.jst.go.jp/guide/docs/20140613_inst_plan.pdf)

参加費: 無料(資料代のみ有料(冊子または電子ファイル)¥1000 程度の予定)

事前の参加申し込みは必要ありません。

共催/連催(予定を含む): 映像情報メディア学会(映像表現&コンピュータグラフィックス研究委員会, 情報ディスプレイ研究委員会, 立体映像技術研究委員会), 画像電子学会(企画委員会), 日本バーチャルリアリティ学会, 電気学会(電子デバイス技術委員会 インタラクティブディスプレイ協同研究委員会), 電子情報通信学会(電子ディスプレイ研究専門委員会)(順不同)

協賛(予定を含む): 映像情報メディア学会(メディア工学研究委員会), SID 日本支部, 画像電子学会(多次元画像研究委員会), 芸術科学会, 3D コンソーシアム, 三次元映像のフォーラム, 照明学会(固体光源分科会), 電子情報通信学会(画像工学研究専門委員会), 日本映画テレビ技術協会, 日本液晶学会, 日本光学会(ホログラフィックディスプレイ研究会) 立体映像産業推進協議会, 超臨場感コミュニケーション産学官フォーラム(順不同)

◇ プログラム [機器展示時間は 12:00-16:00 ]

■ 開会挨拶(13:00-13:10) 小黒 久史(凸版印刷)

■ 招待講演 I (13:10-15:10)

- (1) (仮題)超臨場感コミュニケーション技術の10年 NICT の研究と URCF の活動 井ノ上直己(NICT)
- (2) アトラクションとしての VR の可能性 ~VR 遊園地実現まで~ 藤山 晃太郎(Team Hashilus 代表)
- (3) ヘッドマウントディスプレイの VR 酔いについて 高橋建滋(NPO 法人オキュフェス)

■ 休憩と機器展示見学 (15:10-15:40)

■ 招待講演 II (15:40-17:00)

- (4) 8K スーパーハイビジョンと撮像技術 島本 洋(NHK)
- (5) 遠隔地を目の前にする高臨場感映像コミュニケーション 伊達 宗和(NTTメディアインテリジェンス研究所)

■ 閉会挨拶(17:00-17:10) 小林 直樹(埼玉医科大学)

問合せ先: 代表幹事: 小黒 久史(凸版印刷) E-mail: [hisashi.oguro\(at\)toppan.co.jp](mailto:hisashi.oguro(at)toppan.co.jp)

※タイトル、開始時刻、講演順は変更になることがあります。最新情報は共催/連催学会のホームページでご確認ください。